

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171100011		
法人名	社会福祉法人 真栄会		
事業所名	グループホーム 菜のはな		
所在地	佐賀県神埼市千代田町詫田989		
自己評価作成日	平成22年1月31日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年2月18日	外部評価確定日	平成22年4月8日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・利用者との関わり方を大切にしています。コミュニケーションを図る際は必ず目線を合わせ話す事を心掛けています。家事以外の時間も利用者の力を発揮できるように編み物や折り紙、計算問題、貼り絵、塗り絵を行って楽しんで過ごして頂くように支援しています。</p> <p>・利用者の状態に合わせた外出支援を行っています。元気な方や外出が好きな方は週1回は外出して頂くようにし、楽しんだり、季節を感じて頂くように支援しています。体力が低下した方はホームの近くに外出したり、ホーム内の行事に参加して頂いています。</p> <p>・健康面では併設の特別養護老人ホームこすもす苑の看護師、主治医と連携を図り、利用者の健康管理を行っています。重度化した場面でも、ご家族や医療機関と連携を図り安心して生活を送って頂くように支援しています。</p> <p>・法人全体で様々な研修に取り組み、職員の質の向上に努めています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>人としての尊厳を大事にし、利用者に敬意を払いながら日常の支援にあたっている。職員は利用者の生活リズムや習慣、その方の能力を大事にしながら笑顔で接している。利用者は安心して、自分の生活ペースで穏やかな毎日を過ごしている。また、家族が訪問しやすい雰囲気づくりを心がけており、家族にも笑顔で対応している。家族も気兼ねなく相談したり、希望や意見を出している。</p> <p>毎日の暮らしの中で、回想的にこれまでの人生や馴染みの場所、関わりのあった人等を語り合っている。そして、地域や地域住民との関係が継続する様に支援している。希望による馴染みの場所やそれまで暮らしてきた地域に出かける事も多い。ホーム内でも、庭の梅で梅漬けを作ったり、趣味の手芸をする等、本人の力量に合わせた支援が行われている。うどん会やサンマを屋外で焼いて食べる等の工夫をしており、利用者の楽しみのひとつでもある。職員教育も充実しており、個人の研究テーマを法人内の研修会で発表している。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼時に理念の唱和を行い、理念に基づいたケアができるよう取り組みを行っている。	毎朝の朝礼時に理念の唱和を行い、理念に基づいたケアができるよう取り組みを行っている。	運営理念を再検討し、住み慣れた地域でのサービス提供を基底に置いている。運営理念を毎朝唱和することによって、新しい気持ちで、毎日のケアに臨んでいる。また、理念を具体的な形で実現出来るように随時話し合い、実践に結び付けている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のスーパーや美容院を利用し関わりを持つようになっている。町内で行われているお祭り(ホリデー千代田)や法人で実施しているふれあい祭りには地域の方にも参加して頂き、交流を図っている。	地域のスーパーに買い物に行ったり、美容室を利用し地域との関わりを持っている。また事業所の行事にも地域住民の方へ呼びかけを行い参加して頂き交流を図っている。	地域の奉仕活動に職員が参加する事もある。買物や散歩の時に顔なじみの方と挨拶や言葉を交わしている利用者もある。また、地域の敬老会に案内をもらい出席している方もある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かす取り組みは実践していない。	認知症の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かす取り組みは実践していない。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月の行事や利用者、職員の活動内容の報告を行っている。それに対する意見や工夫を聞き、介護士会議の時に報告し全職員に周知しサービス向上に活かしている。	毎月の行事や事故の報告、受診状況の報告を行っている。それに対する意見や工夫を聞きサービス提供に反映している。	2ヶ月毎に会議が開かれている。活動報告、事故報告、前回課題となった事の取り組み等が報告され、それらを基に話し合いが持たれている。誤嚥防止の研修会、避難訓練の反省、看取りの指針、その他の運営に活かされている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に参加してもらい事業所のケアサービス内容を伝えている。	運営推進会議に参加してもらい事業所のケアサービス内容を伝えている。	運営推進会議への行政からの出席や母体法人の行政との関わりは多いが、事業所としての積極的な協力関係の取り組みは少ない。	運営推進会議だけでなく、行政の担当窓口に向くなど、様々な機会を通して情報を共有する等、行政との更なる連携を期待したい。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については法人全体で研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関も施錠をしないように工夫を行っている。	身体拘束について施設全体で研修を行っている。日中は施設全体施錠することはなく、動かれる方については、抑制せず見守りを行っている。	身体の拘束や言葉による拘束はない。玄関の施錠もなく、見守る姿勢をとっている。事業所自体や法人の研修会でも、拘束がいかに人の尊厳を損なうものかを認識している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体で虐待防止についての研修を行っている。又介護士会議の場でも日頃のケアを振り返り、防止に努めている。	平成22年4月8日		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設全体で研修を行っている。また外部の研修会にも参加し理解を深めているが、それらを活用できるような取り組みは行っていない。	施設全体で研修を行っている。また外部の研修会にも参加し理解を深めているが、それらを活用できるような取り組みは行っていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	平成21年度4月の介護報酬改定の際は利用者のご家族に集まって頂き、改定内容について説明し理解して同意を得ている。	平成21年度4月の介護報酬改定の際は利用者のご家族に集まって頂き、改定内容について説明し理解して同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱の設置をしているが意見箱には入らない。面会時に普段の様子を積極的に伝え、家族との繋がりを出来るだけ多く取るようにしている。	玄関に意見箱の設置をしているが意見箱には入らない。面会時に普段の様子を積極的に伝え、家族との繋がりを出来るだけ多く取るようにしている。	笑顔で家族や利用者へ接し、何でも話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。面会が少ない家族には電話で利用者の日常の様子を連絡し、意見等を聴いている。要望や意見は、即刻、あるいは定例の会議で話し合い、運営に活かしている。	家族は意見や要望、不満を言い出し難いということを理解し、職員や事業所側から意見等を積極的に聴くことが出来る工夫と場面作りの一層の充実に期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回代表者会議の中で話し合いを行い、他の職員の意見等を聞く機会を設け、反映するようにしている。	1か月1回のミーティングで話し合いを行い、検討し決定している。	毎日の申し送りや、定例の会議で忌憚ない意見が出されている。目標管理シート、物品の購入、リフト浴の検討、その他様々な事が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	目標管理シートの進捗状況や自己、多面、上司評価により状況を把握するようにし、職場環境・条件の整備に努めている。	職員個々の努力や実績等は、昇給の折に行い職員各自が行いたい事を出来るだけ実施するように心がけている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	上司評価や日頃の利用者との関わり方、記録等を確認しケアの実際と力量を把握するようにしている。法人内外の研修も交代で受講できるようにし、会議の際に報告を行っている。	職員が交代で受けて行くように話し合いで決定しており、研修後は報告し業務に行かせるように促している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県老施協のグループホーム長会議等に出席し意見交換を行っている。ネットワーク神埼の案内等もあり、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	県老施協のグループホーム長会議等に出席し意見交換を行っている。ネットワーク神埼の案内等もあり、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族やご利用者の話を聞く中で不安に思っている事等を聞き、どうすれば安心して過ごす事ができるか話し合いを行っている。	家族、利用者の話を聞く事で不安に思っている事等を知り、できる要望であれば早いうちに実施し、安心できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とは話し合う機会を多く持ち、要望等をサービス内容に取り組み、安心した関係づくりに努めている。	家族との話し合いを多く持ち、サービス内容も出来るだけ意向を取り込み安心して頂けるように心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族、利用者の要望があれば、他のサービスも利用できるように事業所内で検討している。	家族、利用者の要望があれば、他のサービスも利用できるように事業所内で検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と話を行う中で、利用者のやりたい事やできることの機会の場面作りを行っている。また色々と教えて頂きながら、お互いに助け合いながらおこなっている。	利用者と話を行う中で、利用者のやりたい事やできることの機会の場面作りを行っている。また色々と教えて頂きながら、お互いに助け合いながらおこなっている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	敬老会、ふれあい祭りや月の行事等に参加して頂き、ご家族との絆を大切にしている。又、毎月の利用者の状況報告を家族に行っている。	お盆、お正月、施設の行事等に参加して頂いて家族との絆を大切にしている。又毎月状況報告を家族に行っている。利用者本人からも家族にお手紙を出したりして絆を大切にしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの人や場所に行けるように、昔の話をしたり、ドライブ等で近くまで行き支援を行っている。また面会時には再度面会に来て頂けるように声を掛けたり、雰囲気作りに努めている。	本人の馴染みの人や場所に行けるように、昔の話をしたり、ドライブ等で近くまで行き支援を行っている。また面会時には再度面会に来て頂けるように声を掛けたり、雰囲気作りに努めている。	利用者が心に残っている事を聴いて、近所を散歩したり、馴染みの場所に出かけている。自宅付近をドライブする事もある。利用者にとって懐かしい菱の実ちぎりの見物やお宮に出かける事もある。その際、顔見知りの方と会話を交わしたりもしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	身体的に低下された方は行事やおやつ、食事の時間には職員が間に入り、利用者同士が関わり合いが持てるように支援している。	ほとんどの方が居間で過ごされており、職員が間に入り関係作りを行っている。身体的に低下された方についても入居者の輪に入れるように心がけ関わっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても併設の居宅支援事業所のケアマネジャーを通じ情報を提供し関係を大切にしている。	サービス利用が終了しても併設の居宅支援事業所のケアマネジャーを通じ情報を提供し関係を大切にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	できる限り本人の希望に応じて対応しているが、出来ない時には家族、本人に話をし理解して頂く様に努めている。	できる限り本人の希望に応じて対応しているが、出来ない時には家族、本人に話をし理解して頂く様に努めている。	入所時やその後の諸情報、ホームでの暮らしの様子、会話、つぶやき、行動、その他多くの場面から思いや意向の把握に努めている。家族からも本人の思いを伝えてもらっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の生活歴等家族や本人より聞き、できる限りサービスに盛りこみ支援を行っている。	入居以前の生活歴等家族や本人より聞き、できる限りサービスに盛りこみ支援を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	管理日誌や経過記録、申し送りノートで現状の把握に努めるようにしている。変化があれば話し合いを行い対応している。	記録や日誌、申し送りノートで現状の把握を行っている。また変化があれば随時話し合いを行い検討しその方の状態に応じて対応している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成の際は面会時や電話で家族の思いを聞き、作成している。	カンファレンスを行い本人や家族の思いを聞き、介護計画書を作成している。	実現可能な介護計画を、家族を含めて検討し、作成している。主治医や看護師からも意見を聞いている。日常の記録簿にも目標を転記し、全職員が目標実現のための、具体的な支援に取り組んでいる。6ヶ月毎に評価を行い、定期的あるいは随時に計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録に残し、また気づきがあれば申し送りノート等を活用し職員全員で共有できるようにしている。	個別の記録に残し、また気づきがあれば申し送りノート等を活用し職員全員で共有できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族と話しを行い状況に応じて行っている。	本人、家族と話しを行い状況に応じて行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のスーパーや美容院を利用している。美容院の方とは顔見知りとなり、利用者もお話し等を楽しんでおられる。	近所のスーパー等に外出の機会を設けてはいるが、職員が付き添っている状態であり、一人で出られた際にも職員が見守る程度で、地域の方からの見守りは出来ていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調に変化があれば主治医に報告を行い、速やかに指示を仰いでいる。又他の病院受診時も本人、ご家族の希望を聞き受診の対応を行っている。	特変時には主治医に報告を行い、速やかに指示を仰いでいる。又他の病院受診時も本人、家族の希望を聞き受診の対応を行っている。	本人や家族の希望を聞き、希望の病院で受診を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設施設の看護師の週1～2回の健康チェックに来てもらっている。日常生活で気づきや医療面等の相談をし、助言や指導を頂いている。	施設の看護師の協力もあるが、随時変化があれば個別のケースや日誌に残すようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には家族と共に受診を行い、病院と情報交換を行っている。又入院中にも様子を見に行ったり、退院後の受診等も対応している。	入院時には家族と共に受診を行い、病院と情報交換を行っている。又入院中にも様子を見に行ったり、退院後の受診等も対応している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態が変わられた場合は医療機関と連携を図り、迅速に対応している。重度化した場合についても普段からできる事できない事について説明を行っている。	重度化した時には家族、主治医等と話し合いを行い、計画書作成を行っている。職員全員で情報の共有を行い状態に応じて対応している。	入居時に重度化した場合の指針を基にして、十分に納得のいく話し合いが持たれている。看取りの事例はこれまで無いが、対応出来る体制になっている。身体状況の変化があった場合は、主治医を含めて家族とその都度話し合いが持たれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に1回は施設内で救急法の研修を実施し利用者の急変や事故発生時に備えている。	施設内での救急法の研修を行われており、参加している。	/	/
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回避難訓練を実施している。緊急時は緊急連絡網で全職員に連絡がいくように対応している。事前に災害を予測される時は併設施設に泊まるなどして災害の備えをしている。	年に2回避難訓練を実施している。職員の緊急連絡網で対応している。事前に緊急を予測される時には、泊まる等の対応をしている。	夜間を想定しての訓練を含めて、年2回の火災時の避難訓練を実施している。消防署の指導も受けている。地域の特性からの水害対策も準備されている。	夜間など職員だけでの誘導の限界を具体的に確認し、近隣住民の協力を得ての避難訓練の実施も期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとり、一人の性格や認知症の症状を把握しコミュニケーションを図っている。会議の時でも言葉かけや声のトーンには留意するように促している。	個々の性格を把握しその方にあった言葉かけや対応を行っている。会議等でも言葉かけや声のトーンには留意するように促すようにしている。	重要事項説明書にも利用者の人権・プライバシーの尊厳を取り上げている。マニュアルを作成し、職員教育が実施されている。言葉かけ、食事やトイレのさりげない誘導、居室への立ち入り、敬意をもった接遇、守秘義務の徹底に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で本人の希望や意思を出して頂けるように問いかけをしたり、自己決定できるように待ちの介護を心掛けている。	日々の生活の中で本人の希望や意思を出して頂けるような言葉かけを行うように促し、自己決定できるように働きかけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活の中で本人の体調や天候も考慮し、本人のペースで生活できるように本人の思いや希望を把握し対応している。	日々の生活の中で本人の体調や天候も考慮し、本人のペースで生活できるように本人の思いや希望を把握し対応している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	就寝時、起床時は更衣を行っている。また食事や排泄時に汚染した際には速やかに更衣を促し交換して頂いている。おしゃれについては余暇時間にマニキュアを塗ったり楽しんで頂いている。	就寝時、起床時更衣を行い身だしなみを行うように支援している。また食事や排泄時に汚染した際には速やかに更衣を促し交換して頂いている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備(米研ぎ、食材の切り込み)や片付けは職員と一緒に話をしながら、行っている。また食事中も職員と一緒に楽しく話をしながら食事を楽しんで頂いている。誕生日会や季節の食事、外食等も職員と一緒に計画し楽しんで頂いている。	食事の準備や片付けを職員と一緒に話を行いながら、行っている。また食事中も職員と一緒に楽しく話をしながら食事を楽しんで頂いている。誕生日会や季節の食事等も計画を元に職員と共に作り楽しんで頂いている。	職員も利用者の間に入り、さりげなく支援をしながら一緒に食事をいただいている。食卓の台拭き、食器の片付け、食器洗い等をしている利用者もある。おはぎやうどん会、秋刀魚食、外食等嗜好や季節に応じた食事を楽しんでいる。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の管理栄養士の献立のもと、季節の食材を使いバランスの取れた食事を提供している。食事、水分摂取についてはチェック行い対応している。	併設施設の管理栄養士の献立のもと、季節の食材を使いバランスの取れた食事を提供している。食事、水分摂取についてはチェック行い対応している。			



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行っている。出来ない方についてはブラッシングやガーゼを用いて対応を行っている。	毎食後、口腔ケアの声掛けを行っている。出来ない方についてはブラッシングやガーゼを用いて対応を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、個々にあった排泄パターンでトイレ案内を行っている。	排泄チェック表を使用し、個々にあった排泄パターンでトイレ案内を行っている。	排泄パターンが把握され、一人ひとりの生活リズムに合った支援が行われている。また、本人の様子から尿意を敏感に察知し、さりげないトイレ誘導と状況に応じた支援に努めている。羞恥心や不安にも配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排便の確認を行っている。排便を促す為に牛乳の提供や散歩、腹部のマッサージ等を行い対応をしている。	毎日排便確認を行っている。排便を促す為に乳製品や散歩、腹部のマッサージ等も行い対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の状態や希望を考慮し入浴は午後実施している。ゆっくりお風呂に入りたいと希望がある方は最後に入浴して頂くようにしている。	毎日入浴できるように対応しているが、本人の体調や状態に応じて入浴を行っている。毎日入りたいと言う希望にも出来る限り対応している。入浴を拒まれる方に対しても、タイミングや状態に応じて対応している。	一人ひとりの希望に応じた支援が行われている。毎日でも入浴できる。広い浴槽にゆっくりと足を伸ばして入浴を楽しんでいる方もある。浴室の滑り止めマット類、脱衣所の暖房にも留意している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前、午後共に本人のペース、状態に応じて休息して頂いている。元気な方もその時の状況に応じて休息して頂くように言葉をかけている。	午前、午後共に本人のペース、状態に応じて休息して頂いている。元気な方もその時の状況に応じて休息して頂くように言葉をかけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員で行っている。薬の内容はファイルに綴り、いつでも見られるようにしている。服薬時にも確認表を用い、服薬忘れ等がないように行っている。臨時薬については確認表を用い、現在何の薬を飲んでいるか確認できるようにしている。	服薬管理は職員で行っている。薬の内容はファイルに綴り、いつでも見られるようにしている。服薬時にも確認表を用い、服薬忘れ等がないように行っている。臨時薬については確認表を用い、現在何の薬を飲んでいるか確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で個々の状態に応じて、役割分担を行い対応している。又家族にお手紙を書いたり、縫い物をして頂き張りのある生活を送って頂いている。	日々の生活の中で個々の状態に応じて、役割分担を行い対応している。又家族にお手紙を書かれたり、編み物をされたり出来るように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月の行事や天候によってドライブや散歩、買い物等行っている。毎日の状況や本人の状態に応じて出来る限り対応行っている。又昔から行きつけの美容室に行かれたりと家族の協力も得ている。	毎月の行事や天候によってドライブや散歩、買い物等行っている。毎日の状況や本人の状態に応じて出来る限り対応行っている。又昔から行きつけの美容室に行かれたりと家族の協力も得ている。	その日の希望によって、近所や施設の周りを散歩している。毎日のように買い物に出かけることもある。車椅子の方には、外気浴や近くの神社までの外出支援がなされている。希望によるドライブは、利用者の楽しみの一つでもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時には自ら買い物出来るように支援しているが、支払いや管理は職員で行っている。	外出時には自ら買い物出来るように支援しているが、支払いや管理は職員で行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は家族からかかってくる事はあるが、本人が掛けられる事はない為、家族に電話で声を聞かせて頂く様にお願いしている。手紙は書こうとされないが、本人の体調等考慮し職員が支援しながら行っている。	電話は家族からかかってくる事はあるが、本人が掛けられる事はない為、家族に電話で声を聞かせて頂く様にお願いしている。手紙は書こうとされないが、本人の体調等考慮し職員が支援しながら行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地良く過ごせるよう物音に留意したり、窓の外の景色を見て季節を感じて頂いている。また季節の花を飾ったりして空間作り心がけている。	居心地良く過ごせるよう物音に留意したり、窓の外の景色を見て季節を感じて頂いている。また季節の花を飾ったりして空間作り心がけている。	静かで騒音がない。気温や日差しには、その場所に合った室温の設定や、よしずで日差しを遮る等の工夫をしている。リビングのソファや畳の間にある掘りごたつでくつろいでいる方もある。観葉植物や季節の花が心を和ませている。	吹き抜けになっている食堂は、冬場に足もとが冷えるので、その対策を検討中である。居心地よく過ごせるよう、その実現を期待したい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのソファや玄関先のベンチ、掘りごたつがある畳で他者との交流を図れるように工夫している。	フロアのソファや玄関先のベンチ、掘りごたつがある畳で他者との交流を図れるように工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から持ち込んだ家具や鏡台を使用して頂いている。	自宅から持ち込んだ家具やソファを使用して頂いている。	各居室ともその方が安心してゆっくりと過ごせる場所になっている。趣味や長年馴染んできたもので居室が構成されている。鏡台、お位牌、丸椅子、家族の写真、長年愛読している新聞等いろいろな物が持ち込まれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室がわかるように目印をつけたりして対応している。また分からない方については、その都度声掛け行い対応している。	自室がわかるように目印をつけたりして対応している。また分からない方については、その都度声掛け行い対応している。		

**V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)**  
**※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項 目		取 り 組 み の 成 果			
		ユニットA	ユニットB	↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の	
		○	○	2. 利用者の2/3くらいの	
				3. 利用者の1/3くらいの	
				4. ほとんど掴んでいない	
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある	
				2. 数日に1回程度ある	
				3. たまにある	
				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)		○	1. ほぼ全ての利用者が	
		○		2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない